



2023年4月5日

各 位

会社名：出光興産株式会社
代表者名：代表取締役社長 木藤 俊一
(コード番号：5019 東証プライム市場)
問合せ先：経理財務部 IR 室長 茂木 大輔
(TEL：03 - 3213 - 9307)

HIF Global 社との合成燃料 (e-fuel) 分野における 戦略的パートナーシップに関する MOU 締結について

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：木藤俊一、以下「当社」）は、南米・北米・豪州などで合成燃料 (e-fuel) の製造を行う HIF Global（以下「HIF」）と、合成燃料の生産や日本での実用化・普及を加速させるための戦略的パートナーシップに関する MOU をこのたび締結しました。

合成燃料 (e-fuel) は、再生可能エネルギー由来の水素と大気中の CO₂ を合成することで生成される液体燃料です。原料製造から製品利用までの製品ライフサイクル全体において、カーボンニュートラル (CO₂ 排出量実質ゼロ) を達成するエネルギーとして注目されています。流通にあたり、貯蔵タンクやパイプラインなど既存のインフラを活用できることや、自動車、船舶、航空機のエンジンに手を加えることなく利用が可能であることから、脱炭素化の早期実現策として期待され、社会実装が求められています。

当社はこれまで、本年1月に HIF の実証試験設備であるチリ南部の Haru Oni プラントを視察訪問するなど、HIF と合成燃料の早期社会実装に向けた協議を進めてきました。さらに議論を加速させるため本 MOU を締結し、今後は以下の項目について HIF と共同で検討します。

- ・海外プロジェクトからの合成燃料調達および国内供給
- ・国内外における合成燃料製造設備への共同出資
- ・国内で回収した CO₂ の国際輸送と活用 (原料化)

併せて、HIF が製造した合成ガソリンのサンプルを入手し、環境影響や性能の確認を行い、国内での実用化・普及に向けた検討を進めます。また、当社グループ製油所・事業所における合成燃料の生産検討を進め、2020年代後半までに国内における合成燃料の生産・供給体制を確立することを目指します。

当社は2022年11月に発表した「中期経営計画 (2023~2025年度)」において、2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けた3つの事業領域 (「一歩先のエネルギー」、「多様な省資源・資源循環ソリューション」、「スマートよるずや」) の社会実装を通じ、事業ポートフォリオ転換を推進することを表明しました。本取り組みは、このうち「一歩先のエネルギー」「多様な省資源・資源循環ソリューション」の開発と社会実装に向けた取り組みと位置付けています。当社は合成燃料の実用化と普及の促進により、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

■HIF について

HIF Global は、低コストの再生可能エネルギーをベースに、水素を既存のインフラで輸送・利用可能な液体合成燃料に変換するプロジェクトを推進する、世界有数の企業です。HIF という社名は「地球の脱炭素化を可能にする Highly Innovative Fuels を提供する」という会社の理念を表しており、HIF チリ、HIF 米国、HIF アジア太平洋、HIF EMEA など、グローバルに事業を展開しています。2022 年 12 月にチリのマガジャネスにある Haru Oni 実証プラントから初めての合成燃料の生産を成功させ、今後は米テキサス州での商業規模の HIF Matagorda プラントの建設、豪州タスマニア州でのプラント建設を予定しています。

URL : www.hifglobal.com

以上